

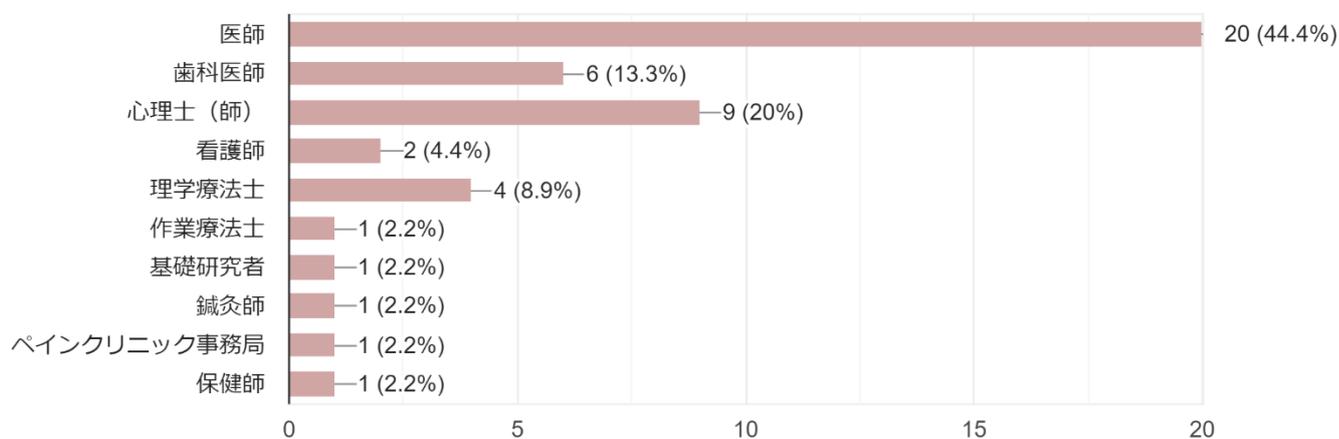
『発達障害と痛み—認知特性のある患者の訴えをどう扱うか—』 アンケート集計結果

2020年2月20日(土) 14:00~16:30 (オンライン開催)

参加者合計 57名

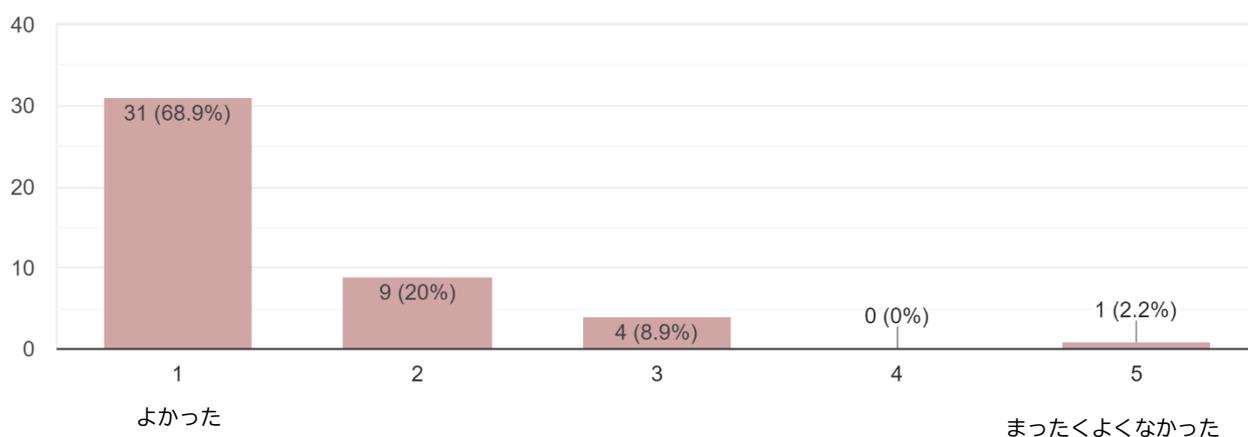
あなたの職種について教えてください。

45件の回答



本セミナーについての感想をお聞かせください。

45件の回答



本セミナーについてご意見・ご感想をご記入ください。

- ・発達障害に限定せず、慢性疼痛を訴える患者さん全般に、こだわりの強さや、認知特性の偏りということに気付くことは少なくありません。
- ・最終的には、個人特性に配慮した対応と、医療者としてのゴールを意識した誘導のバランスが大切と思いますが、患者自身に本人の特性を知ってもらうことができるツールが手に入ると良いなと思いました。
- ・症例発表が1例で良いので、もう少し掘り下げてやってほしかった。特に、「何がポイントなのか」が解りにくかった。
- ・テキストの予習プラスワンで参加してよかった
- ・事例がわかりやすかったです
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・慢性疼痛の患者に対する発達障害からの視点を教えていただき、大変参考になりました。
- ・生育歴、発達歴の聴取の重要性を認識しました。マインドフルネスの概念から再認識しました。カウンセリングの受け答えもたいへん勉強になりました。
- ・考え方に加えて、実例を踏まえた内容で声掛けなども参考になりました。
- ・いずれのご講演も、具体的で日々の臨床に生かせる内容で、大変勉強になりました。
- ・非常に勉強になりました！ありがとうございました。
- ・発達障害と慢性疼痛の繋がりについてよく理解できました。ありがとうございました。
- ・発達障害からの視点での痛みの介入について、再認識できて良かったです。
- ・ニッチな分野で大変有益でした。ありがとうございました。柴田先生の、医療者は悪いところを治す、心理専門家は強みを活かすが大変印象に残りました。
- ・勉強になりました。メッセージ性も明確でわかりやすかったです。
- ・ご講義に加えて質疑応答、チャットでのやりとりからも非常に多くのことを学ぶことができました。本日の学びを臨床に生かしていきたいと思います。
- ・慢性痛診療において、発達障害(神経発達症)として身体関連の気付きに乏しく、認知特性として 視覚優位(=言語的理解が弱い)なケースなら、ビジュアル的ツールを利用していくことも検討してみたいと思います。
- ・慢性痛診療において、発達障害(神経発達症)として心身関連の気付きに乏しく、認知特性として 視覚優位(=言語的理解が弱い)なケースなら、ビジュアル的ツールを利用していくことも検討してみたいと思います。
- ・町田先生の講演すばらしかったです。
- ・さまざまなお話を聴けて大変役立ちました。ありがとうございます。
- ・とても学ぶことが多かったです。ありがとうございました。
- ・とても有意義でした。ありがとうございます。一つ、我が家の電波が悪くてスマホで参加していたのですが、演者が講演中に画面の中にチャットの質問が大写しになるので集中

が難しかったです。質問は出来れば後にまとめたほうが演者にも失礼がなくて良いのではないのでしょうか。

- ・じぶんじしんの性格の偏りについて・・・同意するところありました
- ・発達障害を持つ方々への対応法が具体的でわかりやすかったです。
- ・参考になりました。実は身近に発達障害は多いと感じております。
- ・心理士セミナーとのことでしたが、大変勉強になりました
- ・具体的で良かった。
- ・1) 心療内科、精神科、心理職の方がもっと用いやすい治療技法が紹介された方がよい、
2) 治らない慢性疼痛への対応がもっと紹介されてよい。
- ・初めて耳にする専門用語が多いのですが、おかげさまで大変勉強になりました。
- ・訴えのつじつまの合わない方に新たな接し方が出来そうで今後活かしたい
- ・心理士の先生進め方を学びました。
- ・町田先生の発達障害についてのご説明が大変わかりやすく、対処法も教えていただけて助かりました。
- ・慢性疼痛の患者さんはドクターショッピングが多く、最終的に総合診療科等に通われています。生育歴、親子関係、特性などを踏まえたアプローチの意義を知ることができました。慢性疼痛で薬物に敏感で薬があわないというケースを見聞きしていましたが、慢性疼痛の特徴の過敏から来ているというお話が経験と重なり納得感がありました。今回はありがとうございました。

今後のセミナーについてのご要望がありましたらご記入ください。

- ・マインドフルネスと禅との関係。西洋文化とは異なった歴史・文化背景を持つ日本でのマインドフルネスへの取り組み方
- ・町田先生の後半にお話しがあった就労支援の資源
- ・今回のような、特に対応が難しい対象に関するセミナーを希望します。今回とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・マインドフルネスのセミナーや他の心理技法のセミナー等があれば嬉しいです。
- ・次回のテーマも興味深そうで、期待しています。
- ・素晴らしかったです。今後も参加したいです。
- ・本日のセミナー 大変勉強させていただきました。本日のセミナーも含め、素晴らしい講演が沢山ありましたので、単に報告書だけではなく、書籍で、学会誌でも良いので、総説などにしていただけるとさらに勉強させていただけると思いました。よろしく願いいたします。
- ・町田先生にもう少し慢性疼痛のリーダーとして、水野先生と一緒に活動していただきたいです。
- ・先生方のディスカッションをお聞きしたいです。

- ・来年度も聴講したいです（誤操作でビデオ On にしてしまいました）
- ・続編を希望すると、アウトプットが苦手な発達障害の方が本人の希望を言いやすくなるような質問の仕方なども併せて知りたいです。
- ・非歯原性疼痛と患者の心理との関係。
- ・PDF 資料は今後とも続けていただけると助かります。
- ・疼痛の薬物以外のコントロール 鍼灸やヨガ、アロマ、音楽等の療法家の先生のお話を聴いてみたいです。

本セミナーをどこでお知りになりましたか？（複数回答可）

45 件の回答

